

<真剣味>56

2016. 7. 15

我が家の中学校野球の終了。

●妻の母校であり私の最後の赴任校でもある五泉川東中学校では今年から野球部が復活し、そこで長男も地道に取り組んでいました。顧問にも恵まれ10名の選手は、この数ヶ月今まで以上の良い取組を見せ、疲れた中でも充実していたように見えました。

小学校から野球を始め、クラブチームという形で継続し、中学校の野球をいい形で終わればと思っていました。

大会では五泉市・東蒲原郡大会の初日1回戦完封負け。これで終了かと思ったら2日目には4チームによる敗者復活のトーナメント戦があり、なんと2試合とも接戦を制し、4位で下越地区大会出場を決めました。特に試合の流れ、諦めない強い気持ちの大切さを痛感しました。

2日とも本当に頑張ったと思います。少ない人数の中、一人の投手が3試合を投げ切り、試合を作っていました。バッテリーの頑張りがあり、守備のリズムが安定し大崩れすることもなく、試合を進めていました。

①試合は70~80%バッテリーで決まる。②投手が淡々と投げていた。③守備のリズムが良かった。④守備が安定していると攻撃にもプラスになる。などが再確認できました。

また、6月29日からの下越地区大会でも接戦の試合を行っていました。1試合目は延長の末4対3で制し、2回戦は初回に2点を取られ、それ以降は無得点に。結果0対2で敗れました。敗れはしたものの児童の時から考えれば、生徒たちは大きな成長が見られた大会でした。お疲れ様でした。

⑤初回の入りの難しさを再確認できました。

地区大会に進むだけでも素晴らしいのに、五泉市・東蒲原郡大会の初日以外はどの試合も接戦に持ち込む野球ができ、これも素晴らしいです。だから応援のしがいもありました。

●下越地区大会の出場が決まってから、うちの長男は少ない数ではありますが続けてスイングの練習をやっていました。人は目標がはっきりすることで、取り組みが変わり、成果につなげができるものです。ナイスヒット！でした。

<打席に入るとパニックになってしまうことがある>と我が長男が話していたことがあった。それに対して冷静になる方法の指導や個人あるいはチームでの約束（初球から振りにいくとかストレートを狙うなど）の徹底があれば、もう少し落ち着いて打席に入れたのかもしれません。

●野球だけではありませんが、スポーツはやればやるだけ勉強になります。だからこれで良いということはないのかもしれません。これからも欲を持って野球に挑戦してもらいたい。

目標達成に努力しましょう！

3度目の挑戦。野球には絶対がないとされる意外性のスポーツ。そして弱者イコール敗者でもないはず。だからこそ我がチームは、どんなチームに対しても真面目に挑み、決して気持ちが緩むことなく、最後の最後まで守り、相手のスキについて勝負に出たいと考えています。

7月16日～、7月22日～、8月6日～、新潟江南シニアの3年生の最後の戦いが始まります。どれだけチームの目標達成に向け、個人が努力するか、またそれを総合的にまとめることで「つなぎ」、それが結果にもつながるはずです。「元気・スピード・120%の力での攻守交替」是非ここも試合の中で達成してもらいたい。

①相手より勝ちたい気持ちを強く持つ。②投手を中心とした守りでの初回の入りをスムーズにする。③バッテリーの考えた配球で相手に思い通りのスイングをさせない。④ミスをしたからといって下を見てその場をやり過ごすのではなく、次のため一流の行動をとる。⑤自分が決めてやろうと思うと力が入り、ヘッドが下がるので「つなぐ意識」で打席に入り、そのことだけ考えていると楽な気持ちでヒットできる。⑥いつでも行けるように足を磨いておく。腹をくくって挑む。⑦まず一つ目の勝利に向け、準備万端で臨みましょう。